

- 問1 徳島県における地鶏の出荷量を1994年から2008年までの期間で確認すると、1998年を境に出荷量が急増しています。また、同じ1998年には「神戸・淡路・鳴門自動車道」が開通しています。この道路の開通が地鶏の出荷増に大きく寄与したことを客観的に証明するために、出荷量のデータに加えて確認すべき指標として最も適切なものはどれですか。 (2018年 広島県公立入試 類似)
1. 1994年以前の長期的な地鶏出荷量の变化 2. 道路の開通前後における地鶏の卸売価格の変動 3. 徳島県内における地鶏の飼育農家数の推移 4. 京阪神市場へ向かう地鶏の具体的な出荷経路の変化
- 問2 中国地方の日本海側に位置する2つの県のうち、統計データにおいてみかんや肉用牛の生産割合が比較的低く、かき類などの水産物の生産が一定の割合を占める特徴を持つ県はどこですか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 広島県 2. 鳥取県 3. 島根県 4. 山口県
- 問3 年間降水量が1100mm未満という少雨で、かつ冬でも温暖な瀬戸内地方の気候条件を活かして盛んに行われている農業の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 冷涼な気候とわずかな降水量を活かして、キャベツやレタスなどの高原野菜の栽培が行われている。 2. 水はけの良い傾斜地などを利用して、レモンやミカンなどの柑橘類の栽培が行われている。 3. 湿度の低さを利用して、病害虫に弱い品種のリンゴやサクランボの栽培が平地で広く行われている。 4. 豊富な日照時間と平坦な土地を活かし、スプリンクラーで大量の水を撒くことで大規模な稲作が行われている。
- 問4 徳島県を中心とした中国地方の交通網について述べた文として、地理的な状況を正しく説明しているものはどれか。 (2024年 京都府公立入試 類似)
1. 徳島県は四国内のすべての県と、陸路ではなくトンネルによってのみ接している 2. 徳島県と愛媛県、高知県、香川県は、すべて海を隔てて橋で結ばれている 3. 徳島県は北東に位置する兵庫県と、海を跨ぐ高速道路の橋で直接つながっている 4. 徳島県と兵庫県は地続きであり、県境を越えるのに橋を渡る必要はない
- 問5 本州四国連絡橋の整備が、中国地方の社会や産業に与えた影響を説明した文として、最も適切なものを選択してください。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. 高速道路網の整備によって、中国地方から本州へ向かう農産物の輸送コストが増大し、中国農業は衰退した。 2. 瀬戸内海の海上交通がすべて廃止されたことにより、離島に住む人々の生活利便性が著しく低下した。 3. 自動車や鉄道による本州との往来が容易になり、農産物の出荷や観光客の誘致といった経済的な結びつきが強まった。 4. 本州からの生活物資の流入が完全に停止したため、中国地方における自給自足の体制が確立された。
- 問6 中国地方の北東部に位置する県、北陸地方の富山県、紀伊半島の和歌山県、九州地方の宮崎県の4つを比較したとき、この中で「日本で最も面積が小さい」という特徴を持つ県はどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 徳島県 2. 愛媛県 3. 高知県 4. 香川県
- 問7 中国・四国地方の各県のうち、瀬戸内海に面し、「瀬戸内」の地域区分に含まれる県の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2022年 山形県公立入試 類似)
1. 鳥取県・島根県 2. 高知県・徳島県 3. 香川県・愛媛県 4. 山口県・富山県
- 問8 中国地方に位置する県のうち、2007年に世界文化遺産として登録された石見銀山遺跡があり、鳥取県・岡山県・広島県・島根県の4県の中では最も人口が少ない県の県庁所在地はどこですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. 松江市 2. 岡山市 3. 鳥取市 4. 広島市
- 問9 日本の各都市の気候統計を分析した際、香川県高松市のように「1月の降水量が約50mm、8月の降水量が約100mm」という、夏・冬ともに降水が控えめで、年間を通じて雨が少ない特徴を持つ気候区分を何と呼びますか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 日本海側の気候 2. 中央高地の気候 3. 瀬戸内の気候 4. 太平洋側の気候
- 問10 中国・四国地方の中央部に位置する瀬戸内海沿岸において、大規模な石油コンビナートが形成され、本州と四国を結ぶ瀬戸大橋などのインフラが整備された背景として、地理的条件から説明したものととして適切なものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. 日本海側からの季節風によって大量の降雪があり、豊富な水資源を工業用水に転用しやすかったから 2. リアス海岸による複雑な入り江が多く、天然の良港として古くから製鉄業が独占的に発達したから 3. 季節風の影響を山地が遮るため波が穏やかであり、大型船の接岸や海上交通に適しているから 4. 広大な砂丘や平坦な土地が海岸線まで続いており、大規模な工場用地の確保が容易であったから
- 問11 瀬戸内地域の降水量が、日本海側や太平洋側と比べて少ない理由を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。香川県高松市の年降水量が約1150mmであるのに対し、日本海側の鳥取市が約1930mm、太平洋側の高知市が約2660mmと大きな差がある統計的背景を踏まえて答えなさい。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 周辺を流れる寒流の影響を強く受け、空気中の水蒸気が凝結して雲になりにくいから。 2. 台風の主な通過経路から外れているため、年間を通じて湿った空気が流入しにくいから。 3. 季節風が山地によって遮られ、湿った風が届かず乾いた風が吹き込むため。 4. 内海であるため水面の蒸発量が少なく、上昇気流が発生しても雨雲が発達しないため。
- 問12 中国地方から発送される国内貨物の輸送手段は、1980年には鉄道や内航海運の割合が比較的高い状態にありましたが、2019年の統計では自動車（トラック）による輸送が全体の約5割を占めています。このように自動車（トラック）輸送の割合が拡大した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 一度に大量の石炭や鉱石を長距離運ぶのに、他の手段より費用が安く済むため。 2. 交通渋滞の影響を全く受けないため、都市部への配送時間が正確になったため。 3. 他の輸送手段と比較して、二酸化炭素の排出量が極めて少なく環境負荷が低いから。 4. 高速道路網の整備が進み、産地から消費地まで迅速に直接届けることが可能になったため。
- 問13 鳥取県の砂丘地帯において、らっきょうなどの栽培を安定して行うために大規模な灌漑施設が必要とされた理由として、土地の性質に触れた説明として最も適切なものを選んでください。 (2017年 富山県公立入試 類似)
1. 砂地の土壌は塩分濃度が非常に高く、農作物を育てるために真水で常に塩分を洗い流す必要があったため。 2. 砂地は水はけが非常に良く、作物の生育に必要な水分を土壌に保持しておくことが困難であったため。 3. 砂丘地帯は年間を通して降水量が極端に少なく、砂漠と同じような気候条件であったため。 4. 砂地は粘土質が強く土が固まりやすいから、根が伸びる隙間を作るために常に水分を供給し続ける必要があったため。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 京阪神市場へ向かう地鶏の具体的な出荷経路の変化	特定のインフラ整備の効果を証明するためには、単に同時期に生産量が増えたという相関関係を示すだけでは不十分です。実際にその道路を利用して消費地（この場合は京阪神市場）へ運ばれるようになったという「出荷経路」の裏付けをとることで、道路開通が直接的な要因であることを論理的に説明できます。
問2	答え 3 島根県	中国地方の日本海側、いわゆる山陰地方には島根県と鳥取県が並んでいます。島根県は、隣接する鳥取県と比較して農産物の構成が異なり、中海や宍道湖などでの水産資源の活用が特徴の一つとして挙げられます。
問3	答え 2 水はけの良い傾斜地などを利用して、レモンやミカンなどの柑橘類の栽培が行われている。	瀬戸内地方は、年間を通じて晴天の日が多く日照時間が長いこと、また冬でも温暖であるという特徴があります。この気候は柑橘類の栽培に非常に適しており、特に水はけの良い山の斜面を利用して、レモンやミカンなどの栽培が盛んに行われています。かつては少雨対策としてため池が各地に作られた歴史もありますが、気候の利点を活かした果樹栽培はこの地域の農業の大きな特色です。
問4	答え 3 徳島県は北東に位置する兵庫県と、海を跨ぐ高速道路の橋で直接つながっている	徳島県は四国地方の中にあり、西の愛媛県、南の高知県、北西の香川県とは陸上で県境を接しています。一方で、近畿地方の兵庫県とは海を隔てていますが、大鳴門橋や明石海峡大橋といった高速道路の橋（神戸・鳴門ルート）によって直接結ばれており、近畿地方との重要な物流・交通の動線となっています。
問5	答え 3 自動車や鉄道による本州との往来が容易になり、農産物の出荷や観光客の誘致といった経済的な結びつきが強まった。	本州四国連絡橋の完成により、以前はフェリーに頼っていた本州への移動時間が大幅に短縮され、天候による欠航の影響も少なくなりました。これにより、四国産の野菜などの農産物を新鮮な状態で本州の消費地に届けることが可能になり、観光客の往来も活発化しました。一方で、地方の購買力が大都市に流れる「ストロー現象」などの新たな課題も発生しています。
問6	答え 4 香川県	香川県は四国地方の北東部に位置しており、日本の47都道府県の中で最も面積が小さい県です。かつては大阪府が最小でしたが、埋め立てによる面積増加や国土地理院の算定方法の変更により、現在は香川県が最小となっています。瀬戸内海の気候により降水量が少なく、ため池が非常に多いことも地理的な特徴です。
問7	答え 3 香川県・愛媛県	香川県と愛媛県はともに瀬戸内海に面しており、温暖で雨が少ないという瀬戸内特有の気候を利用した塩田跡地での産業や、かんきつ類の栽培が盛んです。鳥取県・島根県は日本海側の「山陰」に属し、高知県は太平洋側の「南四国」に属します。また、富山県は中部地方の北陸地域に位置するため、中国・四国地方の区分には含まれません。
問8	答え 1 松江市	石見銀山遺跡は島根県に位置しており、その島根県の県庁所在地は松江市です。島根県は中国地方の中でも日本海側に位置する「山陰」に含まれる県で、歴史的な遺産を持つ一方で、周辺の県と比較して人口規模が小さいという特徴があります。
問9	答え 3 瀬戸内の気候	高松市などの瀬戸内海沿岸で見られる気候は「瀬戸内の気候」と呼ばれます。この地域は季節風の影響を受けにくいと、梅雨や台風の時期を除いて降水量が少なく、日照時間が長いのが特徴です。冬に雪が多い日本海側の気候や、夏に雨が多い太平洋側の気候とは、季節ごとの降水パターンの違いから明確に区別されます。
問10	答え 3 季節風の影響を山地が遮るため波が穏やかであり、大型船の接岸や海上交通に適しているから	瀬戸内海沿岸は、北の中国山地と南の四国山地に挟まれているため、冬や夏の季節風が遮られ、年間を通じて波が穏やかで晴天が多いのが特徴です。この穏やかな海域は大型船の航行や接岸に適しており、原材料の輸入や製品の輸出を行う石油化学コンビナートの発達を促しました。また、瀬戸内海を挟んだ地域間の物流をさらに活発にするために、瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が建設されました。
問11	答え 3 季節風が山地によって遮られ、湿った風が届かずに乾いた風が吹き込むため。	日本の気候は季節風の影響を強く受けますが、瀬戸内地域は北側を中国山地、南側を四国山地に囲まれています。夏は太平洋からの湿った風が四国山地に遮られ、冬は日本海からの湿った風が中国山地に遮られます。その結果、山を越えて水分を失った乾いた風が瀬戸内側に吹き下ろすため、年間を通じて降水量が少なくなります。高松市の降水量が鳥取や高知に比べて大幅に少ないのは、この地形的要因によるものです。
問12	答え 4 高速道路網の整備が進み、産地から消費地まで迅速に直接届けることが可能になったため。	四国地方と本州を結ぶ橋の開通や、島内の高速道路の延伸により、トラックによる陸上輸送の利便性が飛躍的に向上しました。これにより、鮮度が重視される農産物や、必要な時に必要な分だけ配送する多品種少量の物流に対応しやすくなったことが、シェア拡大の主な要因です。
問13	答え 2 砂地は水はけが非常に良く、作物の生育に必要な水分を土壌に保持しておくことが困難であったため。	砂地の土壌は粒が大きく隙間が多いため、雨が降っても水がすぐに地下へ浸透してしまいます。この「水持ちの悪さ」を解消するために、遠方の河川などから水を引く灌漑施設を整備し、スプリンクラーで計画的に散水する仕組みが導入されました。これにより、かつては「不毛の地」と呼ばれた砂丘地が、らっきょうなどの一大産地へと転換されました。